

物価高騰から命とくらしを守る政治を

# 住民の願いを町政に活かす 3つの約束

生きることを 学ぶことを励ます皆野町を

町にあった  
公共交通の  
確保と充実

小・中学校の

教材費ゼロ

高校生までの

国保税ゼロ



日本共産党

住み続けたい皆野町に

## 常山 知子

プロフィール●1948年 皆野町生まれ  
●皆野小・中、秩父高校卒業●郵便局勤務  
35年●国神在住●町議会議員3期12年  
●ブログ「知子のつばやき」

こんにちは常山知子です。皆野町の議員として3期12年。住民の声に耳を傾け多くの声を議会で取り上げてきました。「学校給食費は無料に」「学校の図書館に司書・支援員配置を」「補聴器購入に助成を」と提案するなかで実現してきました。「公共交通の確保と充実」移動の支援は、まったなしの課題です。子どもから高齢者まで

生きることを、学ぶことを励ます  
皆野町となるように頑張ります。



### 物価高騰に追い打ち

食材もガソリンも灯油も値上がる物価高騰は、住民の命とくらしを直撃しています。そんなときに国保税の大幅値上げ困ります。

### 教育無償の町に

県下の子ども医療費は就学前まで「無償」でしたが、来春小学校3年生までに拡大します。皆野町はすでに18歳まで無償なので、浮いたお金を使って教材費を無料にして教育無償の町に！

### くらし・憲法・平和を守る！ 軍事費拡大・大增税許さない

防衛費2倍化反対、社会保障費の充実求める意見書に賛成したのは日本共産党と他1名だけ

### 3つの改革でくらしに希望を



人間を大切にする  
働き方の改革

くらしをささえ格差をただす  
税・財政改革

持続可能な  
経済社会への改革

賃金があがらない  
国をかえる

貧しい社会保障  
重い教育費負担をかえる

食料・エネルギー  
危機に弱い経済をかえる

＼財源／

43兆円ものミサイル  
防衛などの軍拡予算  
や政党助成  
金など使い  
方をかえる。



大企業からの献金を1円も受け取らない政党だからこそ実行できます。

消費税5%減税、インボイス中止、新增設許さず原発ゼロ、9条改憲ストップ  
金権腐敗の自民党政治はもう終わらせよう



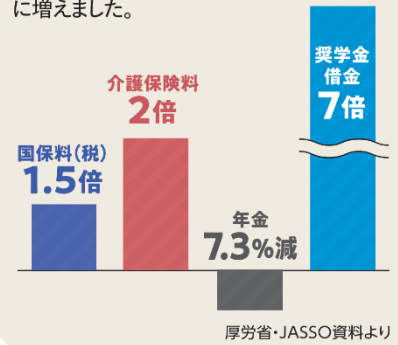
みなのもんぱう

2024年1月号外 発行/日本共産党皆野町委員会  
TEL/Fax 0494-62-67333

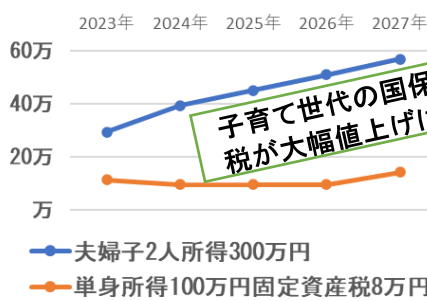
日本共産党皆野町委員会は  
政策を発表しました。

## 連続増税で消費税10% 貧しい社会保障、 重い教育費

「社会保障のため」だったはずの消費税。ところが増税のたびに、社会保障は貧しくなるばかり。高学費で若者が背負わされてる借金は総額10兆円、この30年で7倍に増えました。



## 皆野町 国保税のモデルケース



## アンケートに寄せられた声

### 国保も介護も高すぎる

病院いきません！介護うけません！払えません！こんな声が届いています。

### あらたな支援制度を

子どもが多いと負担の多い国保税。18歳までの全ての子どもにかかる国保税の「均等割」は町全体でも150万円です。新たな町独自の支援制度でくらし応援！

### こんな公共交通があったらいいな

「横瀬型の小型バス」「乗り降り自由な小型町営循環型自動車」「町営バスの皆野行にヤオコー、ヤオヨシの停車」

などとともに、「お出かけタクシーが少ない」「タクシー券増やして」とアンケートで要望も寄せられました。



## 予算の使い方は、くらし応援に

# 子どもを育てられる皆野町

経済成長がとまり、安心して子どもを産み育てることが困難な原因は、教育費が高く、雇用が不安定で、子どもを生み育てることに対して社会の理解がすすまないことが原因ではないでしょうか。賃金が低いのに、600万もの多額の奨学金を背負って社会にでて、結婚し、子どもを育てていくためには、教育への負担を減らし、大幅な賃上げをする。政治の責任で実行していく事が必要です。

## ◆生きることをはげまし 学ぶことをあきらめない町

- 学校・公共施設での放課後の居場所づくり、子どもに関わる人を増やそう
- 小・中学校の教材費をゼロ(無料)にして教育無償の町に
- 高校生までの国民健康保険税の均等割りをゼロ(無料)に
- 学童保育料を無料に
- 奨学金返済支援と給付制奨学金の創設を



## ◆農業経営を守り展望もてる町に

- 学校給食への地元の有機野菜の活用を
- 耕作放棄地の無償貸与などの活用促進
- 付加価値を高めた有機農業の支援で安心安全な農産物を
- 農業の後継者育成のため、無利子・長期の経営資金の提供を
- 林産物の加工・販売促進

## ◆健康長寿、公共交通充実、高齢者の負担軽減

- ドアからドアへ移送するデマンド交通などの移動支援を
- おでかけタクシー券の拡大・改善を
- 介護保険の負担軽減、介護サービスの充実を
- 移動販売促進のため車両購入補助を

## ◆住む場所と、住み続けられる環境づくりに全力

- 民間施設を借り上げて子育て支援アパートの導入を
- 単身者も利用できるよう町営住宅の利用条件の改正を
- 秩父郡市の図書館をつなぎ相互貸出し利用を
- 総合センターの利用料は無料に 皆野高校の有効活用を

## 災害に強い町に

- 土砂、大水からの命を守る対策を

## 気候危機打開！

## 省エネルギーと再生エネルギー推進の町に

- 屋上温水器の設置補助増額を

太陽光発電の設置規制条例を

## 財源は

何にでも使える町の貯金(財政調整基金)は約11億円あります。2022年度 R4年度 末現在

皆野町の基金(ためこみ金)総額は26億円。「住民の福祉増進」にこそ活用を

